

消化器外科 I に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

*新指针对応として追記しております。

[研究課題名] 大腸癌同時性肝転移に対する一期的腹腔鏡下肝・大腸切除術

[研究機関] 北海道大学病院消化器外科 I （病院長 寶金 清博）

[研究責任者] 神山 俊哉 （消化器外科 I・准教授）

[研究の目的]

腹腔鏡手術は低侵襲で整容性に優れ、大腸切除、肝切除にも積極的に導入されています。大腸癌同時性肝転移に対する手術は大腸切除と肝切除を同時に行い、多くの負担をかけるため、以前は2度に分けて行うことが多かったのですが、最近では術前、術後管理の進歩により同時に行っても、合併症、手術関連死、生存率に差はないと報告されています。当科では、より低侵襲性を目指し一期的腹腔鏡下肝・大腸切除術を行っています。この研究では、これまで行った症例の手技の要点、手術成績を検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012年1月から2015年4月までに北海道大学病院で行われた一期的腹腔鏡下肝・大腸切除術例を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、前治療の有無、内容、検査結果（血小板数、PT、アルブミン、ICG-R15値、総ビリルビン）、術前 child-pugh 分類、肝障害度、手術術式、手術時間、出血量、輸血の有無、再発の有無、予後、画像診断結果（CT, 99mTc-GSA シンチ）、病理検査所見

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で

きる個人情報を利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器外科 I 担当医師 神山 俊哉

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515